

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速実験炉原子炉施設の設置変更許可申請に係る事業者とのヒアリング（96）

2. 日時：令和3年9月28日（火）10：00～12：00

3. 場所：原子力規制庁10階南会議室
※本ヒアリングは、テレビ会議システムで実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

菅原企画調査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、

片野管理官補佐、島田安全審査官、安澤技術参与、羽賀技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 担当者

大洗研究所 高速実験炉部 部長 他11名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、配布資料に基づき、以下の事項について説明があった。

- 第53条（多量の放射性物質等を放出する事故の拡大の防止）への適合性に関し炉心損傷防止措置及び原子炉格納容器破損防止措置の有効性評価に使用する解析コード
- 審査会合におけるコメントへの回答及び今後の回答方針
- 常陽の今後の照射計画

○原子力規制庁からは、本日説明のあった内容については引き続き確認していく旨伝えた。

○原子力機構から、了解した旨の返答があった。

6. 配布資料

資料1：第53条（多量の放射性物質等を放出する事故の拡大の防止）に係る説明書 炉心損傷防止措置及び格納容器破損防止措置（機械的

エネルギー発生時のナトリウム噴出量評価を除く)の有効性評価に係る計算コード説明

- 資料 2 : 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所 (南地区) 高速実験炉原子炉施設 (「常陽」) 多量の放射性物質等を放出する事故の拡大の防止に係る炉心損傷防止措置及び格納容器破損防止措置の有効性評価に使用する計算コードについて
- 資料 3 : 第 53 条 (多量の放射性物質等を放出する事故の拡大の防止) に係るコメント回答
- 資料 4 : 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所 (南地区) 高速実験炉原子炉施設 (「常陽」) 第 53 条 (多量の放射性物質等を放出する事故の拡大の防止) に係るコメント回答
- 資料 5 : 機械的エネルギー発生過程におけるエネルギーの配分
- 資料 6 : 遷移過程における溶融燃料-冷却材相互作用 (FCI) の不確かさの影響評価
- 資料 7 : 第 53 条 (多量の放射性物質等を放出する事故の拡大の防止) に係る説明書 (その 2 : 炉心損傷防止措置)、(その 3 : 格納容器破損防止措置) - 炉心流量喪失時原子炉停止機能喪失 (ULOF (iii)) - 除熱源喪失時原子炉停止機能喪失 (ULOHS (iii)) -
- 資料 8 : 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所 (南地区) 高速実験炉原子炉施設 (「常陽」) 第 53 条 (多量の放射性物質等を放出する事故の拡大の防止) に係る説明書 (その 2 : 炉心損傷防止措置)
- 資料 9 : 第 53 条 (多量の放射性物質等を放出する事故の拡大の防止) の有効性評価に係るコメント回答方針
- 資料 10 : 高速実験炉原子炉施設 (「常陽」) 今後の照射計画